

第3回各代幹事会議事録

日時：3月2日（水）

場所：JXグループ六本木クラブ

出席者：21名

【報告事項】

*現役活動報告（青木）

連盟秋のリーグ戦は上位リーグ進出を目指したが、結果は下位リーグ。反省すべき点は、現役間のコミュニケーション不足と4年生の役割が不明確な点。来シーズンは、4年生が就職活動終了後にベンチワークをすることを表明しており、改善が期待できそう。

*エリアネットワーク（永田、香坂）

1期永田さんが、エリアネットワーク全国統括委員長から退任。後任は7期香坂さんが全国統括委員間の互選で決定。全国統括委員会は補充として10期小嶋さんを全国統括委員へ推薦。OB総会の承認を以って、決定される見込み。

平成23年度の活動予定は、北海道・東北（9月3日）、甲信越・北陸（10月1日）、中・四国（11月頃）、九州（12月3日）（いずれも土日開催）が決定済み。

*SO（担当者欠席のため、資料のみを配布）

【2010年決算報告】（志田、松尾）

指摘事項：

- ① エリアネットワークの予算が未消化のため、払い戻し予定額を反映させて修正。
- ② 13期の還暦祝い分（今年の総会にて贈呈予定）は昨年末に支払い済みであるが小額の未消化額があるのでその分を訂正。

【2011年予算案説明】(志田、松尾)

特記事項：

- ① 既に1月中旬に発行済みの会報「楽籠注目！」が、55周年記念特集をおこない頁数、印刷・発想部数、カラー化したことにより通常より費用が膨らんでしまったため昨年度の予算に40万円を増額して計上。
- ② 「川先伝」の増刷費用については、現時点では希望部数は在庫部数内でおさまりそうなので、予算化せず。

【「川先伝」の現況と今後の配布方法について】(神島、古川)

当初の印刷部数450に対して、関係者への配布、55周年パーティーでの販売・KGBへの配布等で在庫は220部。一方、前回の幹事会の確認事項に基づき、OB本人には無償で配布、2部以上希望する方は有償の可能性もある含みで、総会案内状の返信で希望者を募ったところ、現時点では1部希望者は82名、複数希望は13部(5名分)、不要・不明が37名であることから、今のところ在庫分でまかなえそうなので、原則的に全て無償で配布できると思われる。ただし、後生に残したい著作であるので、後々の現役のためにも増刷することも今後視野に入れる。また町田会長より、「幼稚舎スキー合宿60周年記念祝賀会」用にまとまった部数を寄贈したらどうかとの提案については、OB総会の返信状況が把握できたところで、決めることとした。

【幹事会議長をはじめとするOB会組織のあり方について】(神島)

現執行部が腰高幹事会議長体制になってから5年経過している。一方、若手OBの幹事会の出席者は事務局を除くと、ごく限られており、今の意思決定機関としての幹事会組織では、若手OBの意見が反映されにくい側面がある。これまで、事務局から世代毎の代議制を導入した幹事会改革を提案してきた経緯があるが、今回また一年程度時間を掛けて改革していきたい。

これに対する意見として、「長老組と渡り合う上でも腰高議長はあと最低5年間は続けて欲しい。(町田会長)」「強制的に各代毎に毎年議長を出す」、「幹事会をよく知らない議長が毎年続くと、事務局が逆に大変となる」、「40台のOBから議長を出すべき」、「世代間の幅が長くなりすぎて、10期程度毎の世代があつまって、その代から2名程度の代議員をだしたらどうか」等の意見が出た。

【会費の引き下げについて】(古川)

世代によっては会費の使途に納得できていない声を多く聞いたり、海外遠征がなくなっ
てから繰越金が積み上がっている現状から、会費の引き下げを検討したい。

意見としては、「他同好会のOB会は会費無料がほとんど、徴収してせいぜい三千元」、「他
大学がこうだからと言って、楽籠がそれにあわせる理由は無い。」、「2千円程度下げたから
って納入率が飛躍的に伸びるものではないだろう」、「OB会費はGive&Takeの関係にし
てはいけない」、年1回の名簿と年2回の会報を発行、発送するコストとその意義を考えると、1万2千円は安い」、「特別会計での繰越金が積みあがることによって、余計な使途に回
されるおそれがある」、「来年の総会の案内状に「現行の会費について納得感があるかどう
か」アンケート形式で広く意見を聴取してはどうか」、などが出た。

こちらも、様々な影響等を考慮しながら、継続的に検討して行くこととした。

【その他】

●楽籠50周年記念誌の他、これまでの文集を一度集約し、電子ファイルで保存し、会員
がいつでも閲覧できるようにすべきとの意見。(12期安田さん)

●会報、文集の在庫を10期斉藤さん宅に保管が可能かどうか確認する。

以上